

## 共同印刷、カップ用リシール蓋材の提供開始 ピタリと閉じる再封機能で異物混入を防止

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰)は、独自開発した、再封(リクローズ)機能を備えたカップ用の蓋材の提供を開始しました。

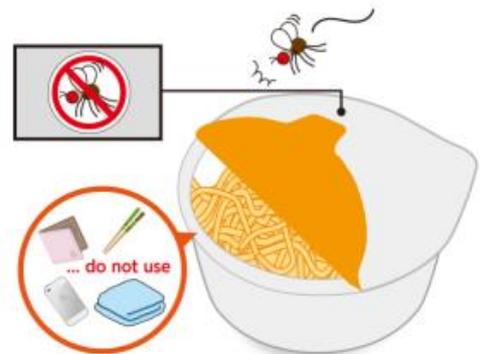
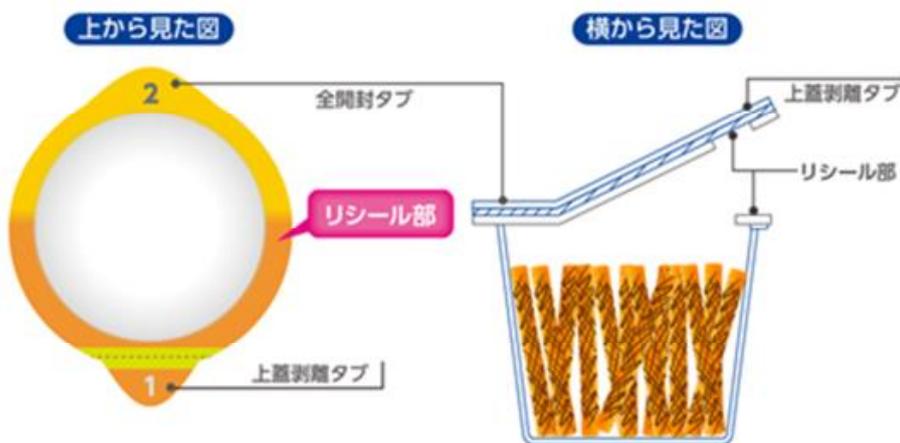
これまで、パッケージを開封して中身が使いきれなかった場合、クリップなどで封をしたり、別の容器に移し替えたりする必要がありました。また、パッケージ自体にリクローズ機能を付与するには、開口部にチャックやキャップを取り付けねばならず、専用の製造設備が必要でした。

このたび本格的に提供を開始したカップ用のリシール蓋材は、「食べている途中で小休止したい」「調理を待つ間、蓋を簡単に閉めたい」などの声を受けて開発したものです。水切り・湯切り機能付き蓋材「パーシャルオープン™」の開発で培った、フィルムの層構成に対する知見やハーフカット技術を応用しました。

特長は、フィルムに独自のリシール層を設けることで蓋にリクローズ機能を付与した点です。中身の取り出しや湯を注ぐ際は蓋を広げた状態で維持できる「デッドホールド性」も付与しました。また、開封タブは、リシール機能側と蓋全体を剥がす側のそれぞれに設けた形状とし、ユーザーの利便性に配慮しました。

リシール蓋材は、即席めんのカップに使用すれば給湯後の蓋の押さえやテープが不要で、菓子などの容器に使用すれば、食べている途中でワンタッチで蓋を閉じることが可能です。ほこりや虫などの異物混入を防ぐことができるため、屋外・屋内を問わず安心感と衛生性を提供できます。

今後、当社は、多様なシーンで役立つカップ用リシール蓋材を即席カップ麺などの業界を中心に提案し、3年後の2022年度に3億円の売り上げをめざします。



上に「押さえ」を置かずに蓋を閉じることが可能。  
ほこりや虫などの異物侵入を防ぎます。